

# 大日本・日比谷アメニスGに

## 北区 飛鳥山公園 Park—PFI

カフェレストランの完成イメージ



東京都北区は、Park—PFI（公設設置管理制度）による飛鳥山公園の魅力向上事業について、大日本コンサルタント・日比谷アメニス・内藤ハウス・東京北区観光協会で構成するグループを設置等予定者として選定した。カフェレストランや東屋（あずまや）の整備を提案している。

4月下旬にも基本協定を締結して、5月から設計に着手する。22年度以降の事業開始を予定している。選定グループが提案した事業コンセプトは「Comingle 飛鳥山（コミングルアスカヤマ）〜彩り豊かな生活を楽しむ王子地域の社交場〜」。現在広場がある位置に、建築面積200平方メートルのカフェレストランを整備する。既存トイレのリフォームや、多機能東屋を新設する。

特定公園施設として、広場、園路、ウォールベンチ、照明灯、彩り花壇なども整備する。公園の所在地は王子1-1-3の総面積7・38畝。選定手続きには同者のみが応募した。有識者らによる選定委員会の総評では、新設建物について「開放的なデザインを採用し、飛鳥山公園の景観になじむ建築計画がなされている」と評価した。イベント企画・運営の詳細や、既存樹木への配慮、建物の安全性・ユニバーサルデザインへの配慮について、関係者間で協議を進める方針だ。



建設通信新聞

2021年04月09日 004面 01版 No. 13

建設通信新聞 2021年4月9日掲載